

令和 7 年度公益財団法人宇部市常盤動物園協会事業計画

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

I 基本方針

当協会は、「宇部市常盤公園における動物園事業の発展充実とともに、動物の知識及び動物愛護思想の普及を図り、もって市民の教育文化の向上に寄与する」ことを目的として設立された団体です。

このような目的を達成するため、定款を踏まえた「来園者の満足度向上と効果的な公益目的事業の推進」、「受託事業の的確な実施と収益事業による収益拡大」、「健全で適正な法人事業の推進」に取り組むとともに、令和 7 年度はグランドオープン 10 周年の節目の年として、市民と共に歩む動物園を目指し、多様な視点で各事業を展開し、創意工夫を凝らし、動物と市民の双方にとって充実した一年となるよう努めて参ります。

II 事業計画

1 公益目的事業

(1) 動物の知識及び動物愛護思想の普及に関する事業

来園者への企画・イベントとして、また児童・学生・社会人を対象とした教育の場として以下の活動を行います。

① イベントの開催

○動物ガイド

実施日	イベント名	内 容
毎日	飼育員ガイド	それぞれの展示場前で動物種ごとの特徴・野生下での暮らし・保全等の解説
毎月 第 2・4 日曜	園長ガイド（園長とさんぽ）	園長が引率して園内を回り、動物を観察しながら毎回違ったテーマのガイド
毎月 第 1・3 日曜	おはよう動物ガイド	開園前の動物園で、動物が展示場に出ていく様子を見ながらその動物にまつわるガイド

○特別ガイド・イベント

動物園に関する知識や野生生物及び環境保全への意識の向上を図ることを目的とした特別ガイドを行います。あわせて、AR（拡張現

実) も利用した園内へのパネル展示やクイズラリー、動画作成、配信等にも取り組みます。

実施日	イベント名	内 容 (前年度分)
4 月中旬	飼育の日特別イベント	飼育のお仕事パネル展示 ちょこっと飼育体験
5 月 第 1 週	国際マカク週間特別イベント	クイズラリー(オリジナルクッキーも配布)、 特別ガイド
5 月 最終週	世界カワウソの日特別イベント	特別ガイド、カワウソおったー (AR 利用)、 カワウソガチャなど
6 月上旬～ 中旬	オウムインコデー特別イベント	特別ガイド、インコの羽根募金
10 月下旬	国際テナガザルの日特別イベント	特別ガイド、グッズ販売など
10 月 最終週	世界キツネザルの日イベント	特別ガイド、グッズ販売など
3 月上旬	野生生物の日特別イベント	特別ガイド

○動物とのふれあい

ウサギやモルモットとのふれあいを通して、動物愛護思想の普及、涵養に努めます。

○えさやり体験

アルパカ及びヤギのえさやり体験を通して、動物愛護思想の普及、涵養に努めます。

○生き物観察会

身近な自然に親しみ、生物多様性・環境保全に対する意識の向上を目的とした、ときわ公園内での観察会を行います。

観察会名	開催日	内 容
野鳥観察会	5 月中旬・ 12 月上旬	季節でも変わるときわ公園に飛来する野鳥の観察
ホタル観察会	6 月上旬	ときわ公園周辺に生息するホタルの観察 (宇部自然保護協会と共催)
昆虫観察会	7 月下旬	ときわ公園に生息する昆虫の採取・観察・ 同定
水生生物観察会	10 月中旬	ときわ公園に生息する水生生物や取り巻く環境の観察

○飼育体験・獣医師体験

動物園における飼育員や獣医師の仕事について学ぶことを目的としたイベントを行います。

イベント名	開催日	対象	内 容
なりきり 獣医さん	7月下旬	小学4年～ 中学3年生	実際に動物への触診・聴診や縫合体験など
なりきり 飼育員	8月上旬	小学4年～ 6年生	動物の寝室の清掃や餌作り、観察など飼育員の仕事を体験等
大人の飼育 体験	11月	高校生以上	※新規 大人向けの飼育体験

○作品コンクール

動物を観察し作品制作を行うことで、動物への理解を深めてもらうことを目的として、下記の作品を募集し、審査、展示等を行います。

コンクール名	募集期間	備考
第58回動物ねんど作品 コンクール	8月上旬 (1日のみ)	展示期間は翌日から8月中旬まで
第71回山口県児童・幼児動物 画コンクール	7月下旬～9月 上旬	県内他2園の動物園との共催
第7回ときわ動物園写真コ ンテスト	8月上旬～9月 中旬	動物写真家の内山晟氏が 審査
動物愛護標語コンクール	7月中	JAZAの主催行事に協力

○年賀状イベント

動物への理解や親しみの醸成を目的として、市内郵便局と協力して幼稚園・保育園児等や一般からときわ動物園の動物に年賀状を送るイベントを行い、それを展示します。

○体験学習館モンスターでのイベント

常設展・企画展や体験型プログラム等により、動物への理解や親しみの醸成、環境教育等に繋がります。

実施日	イベント名	内容
随時	常設展	下記の企画を行わない際に標本などの展示を行います。
10月下旬～ 11月中旬	第7回ときわ動物園写 真コンテスト展	コンテスト入賞作品の展示
12月上旬～	干支展（馬）	新年の干支である午（馬）の特徴

1 月下旬		等を紹介
-------	--	------

② 社会教育活動

○学習プログラム

学校教育との連携を深め、社会見学などで来園した学校に小学校や中学校の教科書に合わせたプログラムやキャリア教育等を実施する他、同内容で出前講座や講師派遣等にも対応します。また、中学生向けに新たなプログラムを開発します。

プログラム	対 象
鳥のくちばしについて知ろう	小学校低学年
動物の赤ちゃんについて知ろう	小学校低学年
動物園のじゅういさんのお話	小学校低学年
飼育員のお仕事と生息環境展示のお話	小学校高学年～高校生
サルをくらべてみよう	小学校高学年～高校生
ウサギとモルモットをよーく見てみよう	小学校低学年
どうぶつ園のじゅういさんになってみよう	小学校低学年
どうぶつ園のうらがわをのぞいてみよう	全学年

○インターンシップ、飼育実習、職場体験学習等の受け入れ、みらい walkersUBE への参加

大学生や専門学校生を対象にしたインターンシップ、飼育実習の受け入れ・指導及び高校生や中学生を対象にした職場体験学習の受け入れ・指導等を行います。飼育員の仕事を体験、実習指導を通じて仕事への理解を深めるとともに、将来飼育員をめざす人材の育成も目的とします。また、宇部市主催のみらい walkersUBE へのブース出展に協力し、動物園の飼育員、獣医師の仕事について体験、発信を行います。

○体験型プログラム

園内の植物やアルパカの毛などを用いたものや、特に夏休みに向け動物などに関係するワークショップを行います。

実施日	イベント名	内 容
6～7 月 及び 1～2 月	へちまプロジェクト (6～7 月に苗配布、1～2 月に エンリッチメント体験)	飼育動物の環境エンリッチメントに 使用するためのへちまを家庭で栽培 してもらい、出来たへちまで環境エ ンリッチメントを体験する。また動 物園で使用する

夏休み中	親子で挑戦！最新ミラーレスカメラで動物写真を撮ろう！	動物写真家の内山晟さんによる写真講座
夏休み中	アルパカの毛を利用したワークショップ	アルパカの毛を使ったコースター作り

○講演等

動物園や動物のことだけでなく、生物多様性や野生動物との共生など様々なテーマでの講演を行い、それらの普及・啓発を図ります。

○ドリームデイ・アット・ザ・ズー

障がいのある方やそのご家族に楽しんでもらうことを目的として、動物園に特別に招待し、教育普及活動を実施イベントを開催するものです。宇部市と共同での主催行事として、NPO 法人等と協力して行います。

(2) 動物の飼育展示及び健康管理

○動物の飼育と展示

15 目・23 科・40 種・210 点（令和 7 年 2 月 28 日現在）の動物について、日常の清掃・給餌・観察、記録等により適正に飼育管理するとともに、飼育及び展示環境を整備して展示効果を高めていきます。

また、飼育動物の繁殖、飼育技術の継承と向上に努めます。

さらに、(公社)日本動物園水族館協会が行う血統登録管理に参画し、その血統管理方策を踏まえた上で宇部市と協議しながら動物の収集や 移動等を行います。特に、白鳥類については繁殖により増羽を図っていきます。

○飼育動物の健康管理

飼育動物には病気予防、検診による異常の早期発見に努め、治療等の適正な獣医療を施すとともに、検疫や高病原性鳥インフルエンザ等の感染症の予防対策を講じます。

また、獣医技術に関する調査研究や医療器材、器具及び医薬品の整備・管理を行います。

(3) 動物施設等の維持管理及び植栽等の環境整備

○施設の維持管理

獣舎を始めとした各施設は、それらの機能が十分発揮されるよう日常点検、修繕等により適正に維持管理していきます。

○植栽等の環境整備

動物園及び遊園地内の植栽の剪定や除草等の環境整備に努め、来園者に良好で適正な園内環境を提供します。

(4) 動物種の保全に関する調査研究

○動物飼育に関する調査研究

飼育動物の飼育や繁殖等のデータを収集・分析して飼育繁殖技術を一層高めるとともに、研究会・学会等に研究発表して国内動物園の飼育繁殖技術の底上げに寄与します。

○生き物の調査研究

ときわ公園内の野鳥・昆虫・水生生物等の生息調査を継続的に実施してデータを蓄積するとともに、その結果を地域や一般への教育普及、啓発等に生かしていきます。

○外部機関との連携・協働

国内外の大学・研究機関や動物園等と連携・協働して、飼育動物の生態や生理、疾病等に関する調査研究を行い、当協会の事業に還元します。

(5) 市民・団体との協働事業

○サポーター事業

「動物サポーター」として登録した個人、団体及び法人等から資金的支援を得て、動物の飼料や飼育環境の改善に資するとともに、市民の動物園事業への理解と参画意識を促進していきます。動物サポーター制度は、個人や法人に募金を通じて、ときわ動物園を応援してもらうもので、サポーターを増やすために広報に努めます。

また、サポーターの方への特典として、バックヤードの見学やワークショップ等を行います。

○ボランティアとの協働

園内においてボランティア活動を行っている「ふるさとコンパニオンの会」との協働で展示動物の解説や来園者案内を実施します。

○基金事業

市民をはじめ多くの人々に動物愛護思想の普及についての理解を促し、集まった資金を基に、飼育環境や動物福祉の向上を支援する基金の設立を検討します。

○動物保護活動団体への支援

特別イベントでのオリジナルグッズ等の売上の一部を動物保護団体に寄付をし、自然の保護や絶滅の危機に瀕している生き物等の保全活動の支援を行います。

(6) 利用者サービス

○来園者を迎える様々なサービス

来園者に快適な観覧環境を提供し、利用促進に向けた様々な活動を展開します。

・入園者への園内情報の提供

(来園者にわかりやすい案内図やサイン等、園内の自然(植物や昆虫、野鳥

など) の情報紙の配置等)

- ・年間パスポートの販売
- ・車椅子の貸出(無料)
- ・園内放送の充実
- ・苦情、要望、意見への対応、取材対応
- ・園内清掃及び廃棄物処理

○利用促進、PR 活動

- ・X、Instagram、Facebook などの SNS での情報発信と分析
- ・宇部市と連携した広報うべ、ときわ公園ニュース等広報紙への掲載
- ・ときわ動物園カレンダーなどのノベルティグッズの制作

○繁忙期における休園日の開園と季節に合わせた開園時間の設定

○苦情、要望や利用者満足度調査を活用した利用満足度の向上

(7) 安全・安心の確保

火災や大規模地震等の自然災害への備えとして、対策訓練の実施、マニュアルの見直しを行うとともに危機対応力の向上を図り、事業運営の基礎となる安全・安心の確保に努めます。

○動物感染症対策（高病原性鳥インフルエンザ等）

- ・計画に沿った的確かつ迅速な感染防止対策の実施

○震災等の災害対策

- ・事業継続計画（BCP）に基づいた教育及び訓練とマニュアルの更新
- ・台風、大雨、積雪等災害時における対応、巡回点検
- ・消防訓練、災害対応備品の充足

○事故対策

- ・動物事故防止に向けた取り組み
- ・動物逸走対策訓練の実施、マニュアルの更新

2 収益事業

宇部市からの受託事業である駐車場の維持管理とこれに付随する業務を実施します。また、自動販売機や売店（インターネットショップを含む）での物品販売を行います。

3 法人事業

理事会・評議員会等に関する業務を行うと共に人事・経理・総務等の業務を行い、法人の健全で適正な運営を図ります。